

感性にふれる生物多様性 (海遊館とニフレルの試み)

「つなげよう、支えよう**森里川海**」
ミニフォーラム in 吹田

平成28年1月20日(水)

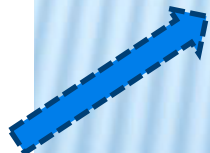
主催：環境省

共催：吹田市、大阪大学環境イノベーションデザインセンター

(株)海遊館
海遊館館長 西田 清徳



海遊館は(公社)日本動物園水族館協会 JAZAに加盟 ニフレルも加盟予定



JAZA
JAPANESE
ASSOCIATION OF
ZOOS AND
AQUARIUMS

水族館62
動物園89

日本
動物園
水族館
協会



環境省自然環境局

生物多様性保全の推進に関する 基本協定書

- × 2014年6月に環境省自然環境局とJAZAの間で締結。
- × 生物多様性の主流化に向けた活動、絶滅危惧種の生息域外保全を始めとする野生動植物種の保全、外来種対策、普及啓発その他の活動に関する連携が主な目的。

海遊館で開催中の企画展示 琵琶湖・淀川・大阪湾 ～水のつながりと生き物たち～



守ろう アユモドキ！ 連携展示

アユモドキ

琵琶湖博物館では、1982年6月に現在の京都府南丹市で保護された

アユモドキを代々繁殖させて「生息域外保全」を続けてきました。

展示中の個体は、2013年6月に人工授精によって繁殖した個体です。

水族館・動物園は
生息域外保全の場

協力施設

■「守ろう アユモドキ！連携展示」は、次の施設で開催します。

施設名

電話番号

大阪府環境農林水産総合研究所
水生生物センター

072-833-2770

海遊館

06-6576-5501

亀岡市文化資料館

0771-22-0599

京都水族館

075-354-3130

神戸市立須磨海浜水族園

078-731-7301

滋賀県立琵琶湖博物館

077-568-4811

志摩マリンランド

0599-43-1225

世界淡水魚園水族館

0586-89-8200

姫路市立水族館

079-297-0321

宮津エネルギー研究所水族館

0772-25-2026

宮島水族館

0829-44-2010

(あいうえお順)

開催期間は施設により異なります。お問い合わせのうえ、お出かけいただきますようお願いいたします。

シンポジウム「生物多様性ってなに？ ～琵琶湖・淀川・大阪湾から考える～」



外来生物対策室長



大阪市立
築港中学校
海遊館連携
授業チーム



長浜市立朝日小学校



外来生物問題の普及啓発

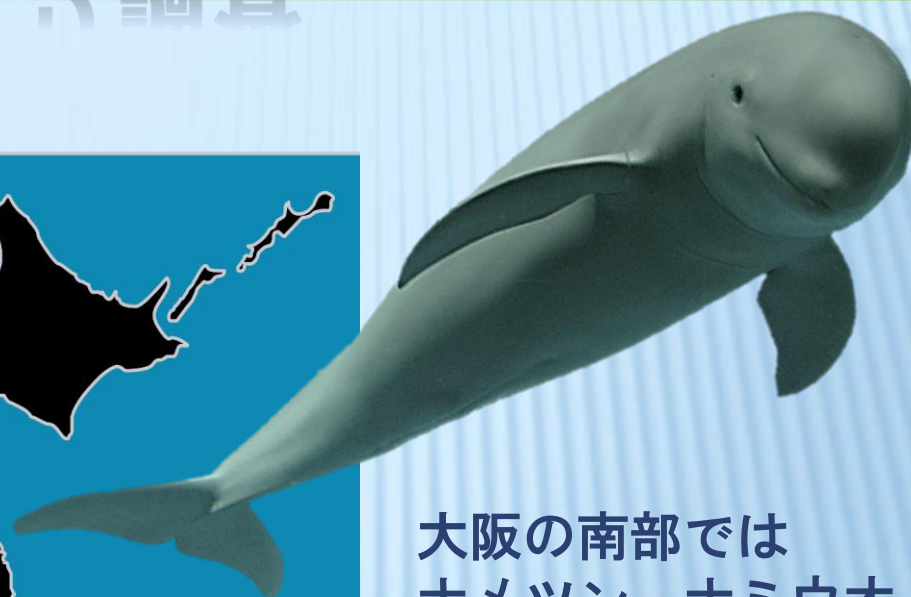
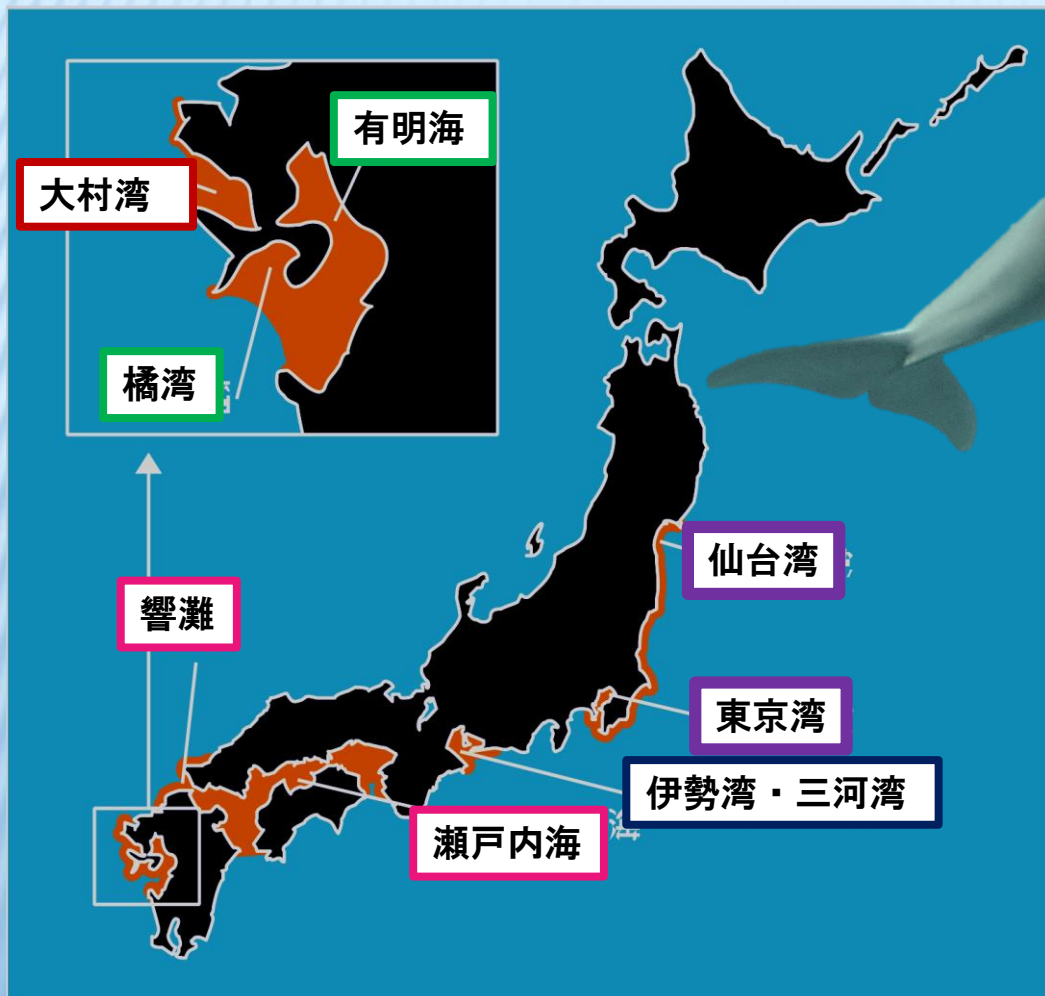
ボタンウキクサ



ヌートリア



大阪湾のスナメリ調査



大阪の南部では
ナメツン、ナミウオ
などと呼ばれる。

Neophocaena asiaeorientalis

船から目視調査

- 海水運搬船「かいゆう」の往復航路を利用（年間132往復）
- 発見時刻、発見場所の緯度・経度、発見頭数を記録



海水運搬船「かいゆう」



報道機関や一般の皆様のご協力も得て

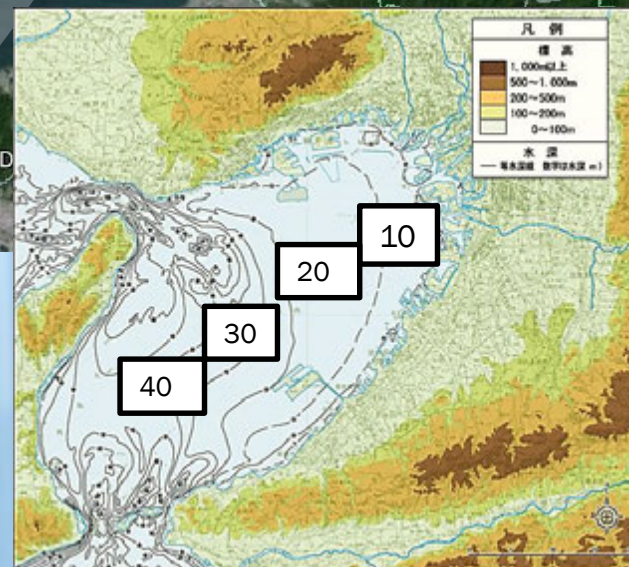
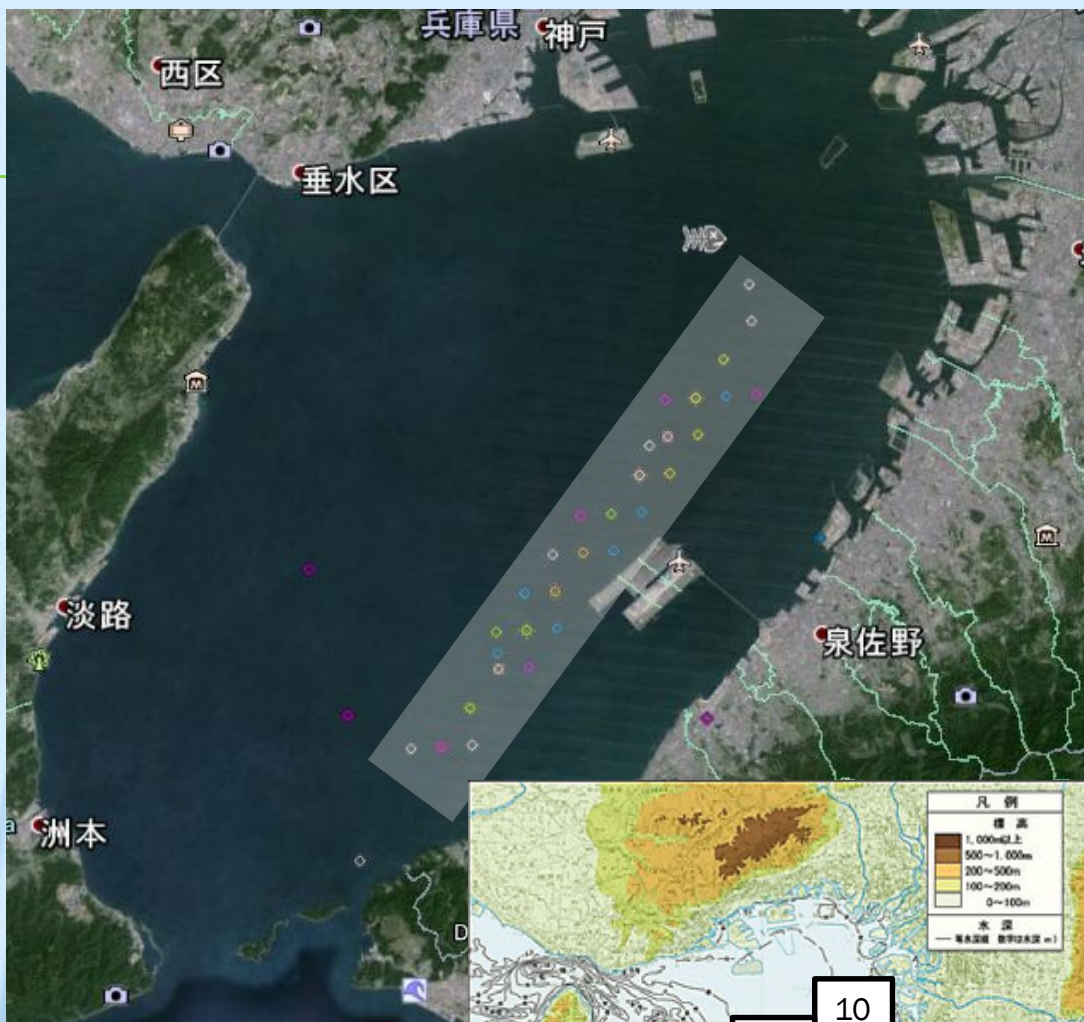


どこで発見？

年	回数(回)	頭数(頭)
2010	19	86
2011	29	66
2012	30	124
2013	19	78
2014	27	66

年によって変動はあるが、
2010年から2014年までに
124回420頭の姿を発見。

岸和田沖～岬町沖までの範囲で
特に関空の西側で観察された。
水深は20m前後。



企画展開催



大阪・海遊館



1990年
7月20日
オープン

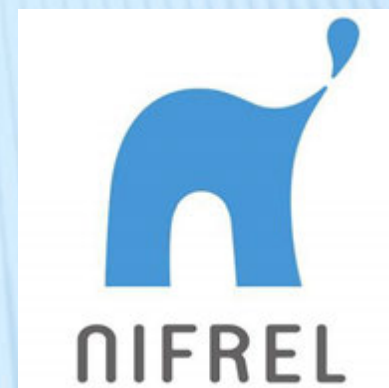
2015年
11月19日
オープン



NIFREL

ニフレルのコンセプト

生物多様性を守ることの
大切さを伝えるために



水族館、動物園、昆虫館、博物館 etc.
の区別は不要？

展示を窓から覗くのではなく
展示空間に入って、感じていただく
インスタレーション（現代美術の表現手法）

水族館でも動物園でも美術館でもない
生きているミュージアム ニフレル

色彩・行動・形態の多様性



空間の共有 インスタレーション



うごき にふれる



音や映像から生物多様性を体感



これからの海遊館とニフレルは？

水族館の使命を忘れず、
生き物や自然の
素晴らしさと大切さを
伝え続けたい！

そのために

持続的 (sustainable) であること
進化 (evolution) すること
生物多様性 (biodiversity) を守ること
センス・オブ・ワンダー (感性) に訴えること

